北海道観光振興機構

北海道 観光レポート

Hokkaido Tourism Organization

2023年 夏 号
令和5年6月26日発行

北竜町　ひまわり

千歳川

松前公園

なつぞらのふる里　道の駅おとふけ

利尻　仙法志御崎公園

2023年3月の延べ宿泊者数は 2か月ぶりに2019年同月を上回る。 新型コロナウイルス感染症の 「5類」移行表明により旅行需要の回復が見られた。

トピックス 令和4年度道内観光消費額の調査結果（経済波及効果）【暫定版】を発表

トピックス アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本（ATWS2023）プログラム決定 テーマは『調和-Harmony』

HOKKAIDO LOVE!

北海道の延べ宿泊者数実績

2023年3月

◯北海道の延べ宿泊者数(全体)は、3月は296万人泊(前年同月比+52.0%、2019年同月比+2.7%)であった。
12月以来、3か月連続で300万人泊を下回ったものの12月以降2か月ぶりに、コロナ前の2019年同月を上回り、新型コロナウイルス感染症の落ち着きや「5類」移行表明により旅行需要の回復が見られた。

◯北海道の日本人延べ宿泊者数は、3月は251万人泊(前年同月比+29.5%、2019年同月比+15.0%)であった。
1月は2019年同月比が-0.6%となったものの、2か月連続で二桁の増加となり、感染拡大前の水準を上回っている。

◯北海道の外国人延べ宿泊者数は、3月は44万6千人泊(前年同月比+7145.9%、2019年同月比-35.7%)であった。
新型コロナの水際対策が緩和され、コロナ前の水準には届かないものの、2019年同月比の約6割の水準にまで回復しており、順調な回復傾向が見られる。

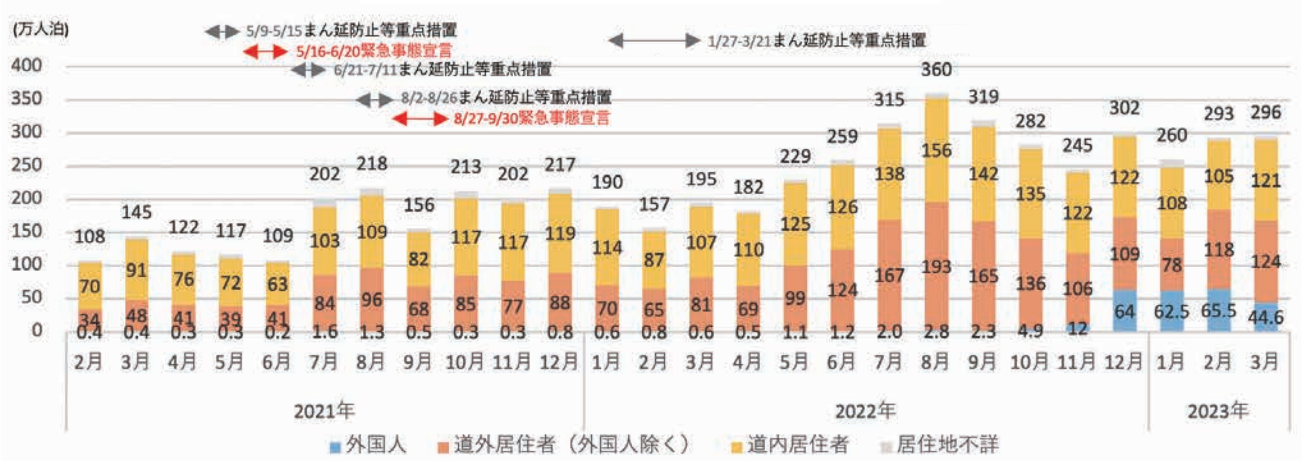
◯居住地別・月別の推移は、道外居住者(外国人を除く)は3月124万人泊(前年同月比+52.8%、2019年同月比+20.9%)、道内居住者は3月121万人泊(前年同月+13%、2019年同月+17.1%)となった。

延べ宿泊者数データ(2023年3月第2次速報)

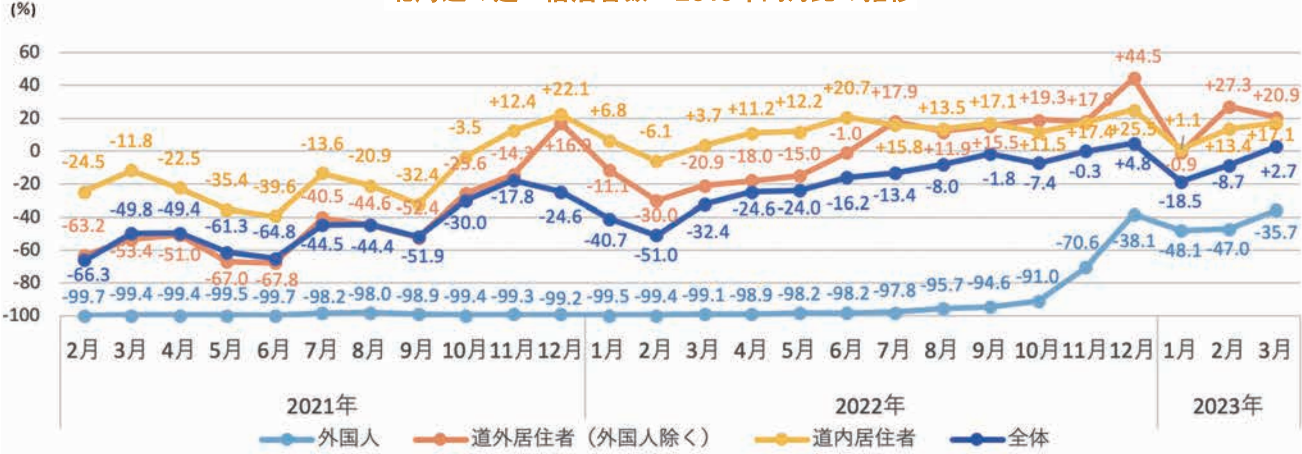
(単位:人泊)

	北海道			全国		
	全体	日本人	外国人	全体	日本人	外国人
2023.3	2,957,550	2,511,930	445,620	50,678,060	43,130,940	7,547,120
2019同月比	+2.7%	+15.0%	-35.7%	-0.9%	+3.6%	-20.7%
前年同月比	+52.0%	+29.5%	+7145.9%	+51.5%	+30.2%	+2183.1%

北海道の延べ宿泊者数　月別の推移



北海道の延べ宿泊者数　2019年同月比の推移



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成
注1:2022年2月～2023年3月は速報値。

© (公社) 北海道観光振興機構観光レポート2023年夏号

来道者輸送実績

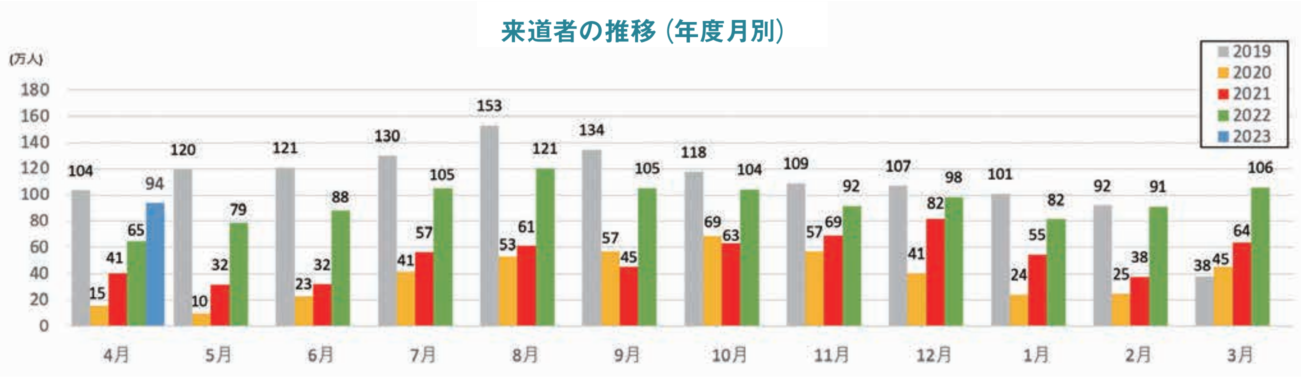
2023年4月

○2023年4月の来道者数は93万7千人となり、前年同月比+44.7%であった。
○感染拡大後の2019年4月と比較すると-9.6%となり2月から3か月連続で90%台で推移し、コロナ前に戻りつつある。
○輸送機関別の来道者数は、航空機が80万8千人で前年同月比+43.8%、JRが6万1千人で前年同月比+144.2%、フェリーが6万8千人で前年同月比+12.3%となり、全ての輸送機関で前年同月を大きく上回った。
○感染拡大前の2019年4月と比較すると発地別・着地別ともに来道者数は大幅に回復した。
○発地空港別の来道者数は、関東が51万5千人と全体の64%を占め、次いで関西12万2千人（15%）、名古屋5万9千人（7%）、東北5万1千人（6%）、九州・沖縄3万人（4%）となった。
○着地空港別の来道者数は、新千歳・丘珠が65万6千人と全体の81%を占め、次いで函館5万9千人（7%）、旭川3万人（4%）、帯広2万1千人（3%）、釧路1万7千人（2%）、女満別1万6千人（2%）となった。

来道者輸送実績（輸送機関別）

（単位:人）

	総数	航空機	JR	フェリー
2023.4	937,450	808,034	61,300	68,116
2019同月比	-9.6%	-7.2%	-14.6%	-28.2%
前年同月比	+44.7%	+43.8%	+144.2%	+12.3%



来道者輸送実績（発地空港別）

（単位:人）

	東北	関東	北陸・信越・東海	名古屋	関西	中国・四国	九州・沖縄
2023.4	51,731	515,602	18,516	59,953	122,277	9,727	30,228
2019同月比	-11.7%	-12.1%	+7.7%	+2.1%	+8.5%	+6.1%	+10.5%
前年同月比	+36.8%	+39.6%	+70.7%	+46.2%	+56.2%	+145.0%	+45.7%

来道者輸送実績（着地空港別）

（単位:人）

	新千歳・丘珠	函館	旭川	帯広	釧路	女満別	稚内	紋別	中標津
2023.4	656,531	59,787	30,314	21,506	16,958	15,647	3,100	2,083	2,108
2019同月比	-6.7%	+7.0%	-18.9%	-14.6%	-11.3%	-22.3%	-12.3%	-22.3%	-24.3%
前年同月比	+43.6%	+40.8%	+41.9%	+45.3%	+47.6%	+56.8%	+81.3%	+22.9%	+66.8%

出典：「北海道観光振興機構来道者輸送実績調査」をもとに作成

今号の注目!

1~3月の北海道への外国人延べ宿泊者数は、1位韓国、2位台湾、3位香港

新型コロナの水際対策が緩和され、個人の外国人旅行客の入国も解禁になったことにより、北海道にも多くの外国人が訪れた。

全国と比較すると、国籍に大きな違いは見られないが、上位4カ国で全体の6割を占めるなど、新千歳空港への直行便が再開されたことから、多くの外国人が北海道を訪問していると考えられる。

また、さっぽろ雪まつりが3年ぶりに通常開催されるなど、道内の冬のイベントやスキーなどのアクティビティを楽しむために、旧正月にアジア圏から多くの旅行者が来道されたと推察される。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年1～3月第2次速報）

順位	北海道		全国	
	国籍（出身地）	人泊	国籍（出身地）	人泊
1位	韓国	368,860	韓国	3,131,740
2位	台湾	330,090	台湾	2,414,030
3位	香港	156,500	アメリカ	1,703,240
4位	タイ	134,650	香港	1,412,540
5位	オーストラリア	83,570	中国	944,430
6位	中国	73,530	タイ	778,110
7位	アメリカ	70,750	オーストラリア	699,380
8位	シンガポール	61,130	シンガポール	576,590
9位	マレーシア	46,320	マレーシア	313,410
10位	インドネシア	20,230	イギリス	288,600

出典：「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成

トピックス

令和4年度道内観光産業による経済効果について

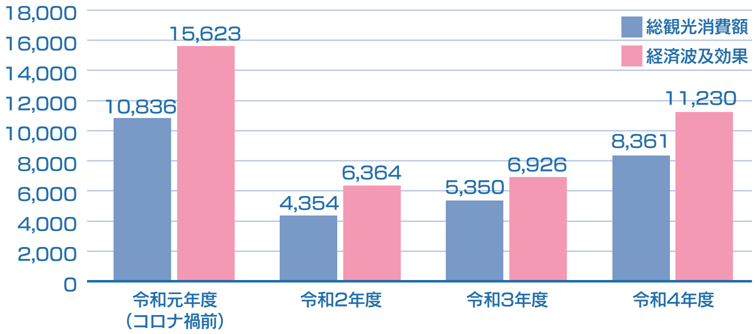
北海道観光振興機構では、道内の観光地を訪れる観光客の満足度や道内観光産業の経済効果を把握するため、北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査を実施しています。今回、令和4年度の調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

※現時点で令和4年度第4四半期（R5年1月～3月）の観光入込客数が未確定であるため、本報告は【暫定版】といたします。

※また当年度は外国人観光客に対する調査は行っておりません。従って、本推計結果は国内観光客の観光消費額のみに基づくものであることにご留意ください。

令和4年度・観光産業経済効果調査推計結果【暫定版】

1. 概要



■総観光消費額：8,361億円
前年度比：+3,010億円、156.3%
令和元年度比：77.2%

■経済波及効果（生産誘発額）：1兆1,230億円
前年度比：+4,304億円、162.1%
令和元年度比：71.9%

※いずれも国内観光客の観光消費額に基づく

2. 新型コロナウイルス感染症による影響について

今回調査を実施した令和4年度は、前年度まで実施された新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置といった行動制限の発令がなく、「どうみん割」や全国旅行支援「HOKKAIDO LOVE! 割」等の施策効果に加え、年度の後半は感染収束傾向や感染症法における「5類」への引き下げ移行表明等があり観光客の旅行マインドを引き上げたと推測、観光入込客数は前年度対比737万人増加（120.6%）した。

それに伴い総観光消費額や経済波及効果は大幅に増加し、いずれもコロナ禍前の令和元年度の7割超（77%、72%）まで回復している。

3. まとめ（令和3年度との比較）

（1）右記「消費税：一人当たり単価」の表に記載のとおり、一人当たりの消費額については道内客で増加したものの道外客については大きな違いはないことから、総観光消費額を3,010億円押し上げた主な要因は入込客数の増加によるところが大きい。

（2）当年度実施しなかった外国人観光客に対する調査は令和5年度において実施予定であり、コロナ禍を経て変化したインバウンドの観光消費額について把握するとともに、道内観光の高付加価値化の効果検証を行うこととしたい。

調査の概要（令和4年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査）

■目的：道内における観光による消費規模の実態及び観光消費がもたらす北海道経済への波及効果を分析し、観光産業の活性化及び（観光）振興を図るための基礎データとして活用する。

■方法：道内主要観光地や交通拠点（103か所）のうちコロナ禍による集客困難地点等を除いた地点で面接聴取。コロナ対策のため二次元コード読み取り・インターネット経由での回答も導入。

■サンプル数：有効回答数3,794件を取得（内訳：道内客＝1,896、道外客＝1,898）。

■項目：プロフィール（居住地、年代、職業、年収等）、旅行形態（日程、人数等）、旅行内容（消費額、観光ルート等）、期待度・満足度等。

■時期：4期に分けて調査（1期：令和4年8月、2期：9月～10月、3期：11月～12月、4期：令和5年1月～2月）。

©（公社）北海道観光振興機構観光レポート2023年夏号

≪左記の内容で調査を実施した結果、下記の消費額を算出≫
消費額：一人当たり単価（内訳：交通費、宿泊費、飲食費、買物代、娯楽等サービス費、その他）

単位：円

年度	道内客		道外客		外国人
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
令和4年度	7,815	30,470	16,090	81,182	ー※1
令和3年度	6,085	27,826	16,044	81,574	ー
増減	1,730	2,644	46	▲392	ー
参考：令和元年度	8,120	32,594	70,733 ※2		138,778

注）本消費額単価はアンケートで回答を得た単純集計による消費単価ではなく、パッケージ料金に含まれる飲食、宿泊、交通費等の道内留保分も含めた「経済波及効果（推計）」に用いる最終投入単価の数値である。
※1）外国人観光客は調査未実施。
※2）令和元年度の道外客については日帰り・宿泊の区別をしていない。

1 総観光消費額

■総観光消費額		年度	道内客				道外客			外国人	合計
			日帰り客	宿泊客	その他※1	合計	日帰り客	宿泊客	合計		
a	年間観光客数（R4年度は推計）単位：万人	R4	2,965	848	90	3,903	13	406	419	ー※2	4,322
		R3	2,690	544	90	3,324	11	250	261	ー	3,585
		増減	275	304	0	579	2	156	158	ー	737
		R1	3,629	972	268	4,869	ー	ー	607	312	5,788
b	道内観光消費額単価（推計用調整値）1人 単位：円	R4	7,815	30,470	15,853	ー	16,090	81,182	ー	ー※2	ー
		R3	6,085	27,826	15,853	ー	16,044	81,574	ー	ー	ー
		増減	1,730	2,644	0	ー	46	▲392	ー	ー	ー
		R1	8,120	32,594	15,853	ー	ー	ー	70,773	138,778	ー
c	道内観光総消費額（a×b）単位：億円	R4	2,317	2,584	143	5,044	21	3,296	3,317	ー※2	8,361
		R3	1,637	1,514	143	3,293	18	2,039	2,057	ー	5,350
		増減	680	1,070	0	1,750	3	1,257	1,260	ー	3,010
		R1	2,947	3,168	425	6,540	ー	ー	4,296	4,323	15,159

※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

注）年間観光客数の算出方法について
令和4年度第3四半期迄（令和4年4～12月）は、北海道経済部観光局が令和5年6月迄に公表した「令和4年度観光入込客数調査」の観光入込客数を用いた。未公表の第4四半期（令和5年1月～令和5年3月）については、「輸送機関別来道者数調査」（当機構）、「宿泊旅行統計調査」（観光庁）、「V-RESAS～移動人口動向」（内閣府）等を参考に当機構が推計した。
※1）道内客「その他」～道民の道外への観光旅行等に伴う旅行消費。
※2）「観光入込客数調査」では、外国人入込客数について第2四半期に2万人、第3四半期に19万人を計上しているが、当年度の北海道来訪者満足度調査では観光消費額等を含め外国人観光客に対する調査は行っていないため、年間観光客数や総消費額については算出していない。

2 観光による経済波及効果

○観光総消費額8,361億円による経済波及効果の推計結果

※新規雇用者誘発数はあくまで総観光消費額に基づく効果の推計であり、必ずしも実際の雇用者数とは一致しないことについてご留意ください。

	経済波及効果（生産誘発額）単位：億円	新規雇用者誘発数 単位：万人
令和4年度	11,230	10.5
令和3年度	6,926	6.0
増減	4,304	4.5
増減率（%）	62.1%	76.1%
参考：令和元年度	15,623※1	21※2

注）経済波及効果（生産誘発額）は、観光消費による直接効果6,409億円（道内客3,866億円、道外客2,543億円）と、第一次間接効果3,043億円（道内客1,836億円、道外客1,207億円）、第二次間接効果1,779億円（道内客1,073億円、道外客706億円）の合計額からなる（四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある）。
※1）令和元年度の経済波及効果（生産誘発額）は国内観光客の消費額による効果のみ記載。
※2）令和元年度の新規雇用者誘発数は外国人観光客の消費額による効果を含む。

トピックス
アドベンチャートラベル・ワールドサミット 北海道・日本（ATWS2023）プログラム決定 テーマは『調和 - Harmony』

ATWSはAdventure Travel Trade Association（ATTA）の会員が年に一度集まる世界大会で、欧米の旅行事業者やメディアを中心に約800名が参加。講演や分科会、旅行会社やメディアとの商談会、ATツアーやレセプションへの参加など様々なプログラムがありますが、ATWSの本質はネットワーキングであり、世界中にいるATTA会員が直接会って話をするイベントです。大会期間中の全てが商談の機会と言っても過言ではありません。

今年のサミットのテーマは『調和（Chōwa, or Harmony）』。日本開催に相応しいテーマをATTAとATWS北海道実行委員会が協議を重ねた末に決定されました。ATTAの公式サイトでは「『調和（ちょうわ）』は、『自分より他人を思いやる心』を表す言葉としてよく使われます。この言葉には様々な意味がありますが、自分という小さな存在を超えて、地域や自然環境といった『私たち』を大切にしようという思いが込められています」と紹介されています。

- Message -

北海道観光振興機構　会長
ATWS北海道実行委員会　筆頭副会長　**小金澤 健司**

9月にATWS2023が北海道で開催されます。昨年10月にスイスのルガーノで行なわれた大会にはATWS北海道実行委員会の筆頭副会長として参加しましたが、一番印象深く感じたことは、ATの3つの要素「自然・アクティビティ・文化」に加え、その大前提として「サステナブル」であることが重要視されていることでした。ATは全世界で70兆円の市場があると言われていますが、日本ではほぼゼロで、ATWSがアジア圏で開催されるのは今回初となります。会員のみなさまにも共通の認識を持っていただきながら、ぜひこのチャンスを掴んでいきたいと考えております。

ATWS 2023 プログラム概要

日程		AM	PM	夕刻～夜
大会前	9月上旬～9月10日(日)	PSA（Pre-Summit Adventure）　全22コース（道内15、道外7）		
1日目	9月11日(月)	DOA（Day of Adventure）全31コース		ウェルカム・レセプション
2日目	9月12日(火)	オープニング、基調講演、分科会、ラウンドテーブル・ディスカッション		オープニング・レセプション
3日目	9月13日(水)	Marketplace（旅行会社間の商談会） 基調講演、ラウンドテーブル・ディスカッション		―
4日目	9月14日(木)	MediaConnect（メディアとの商談会） 基調講演、分科会、ラウンドテーブル・ディスカッション	クロージングセッション	クロージング・レセプション
大会後	9月15日(金)～9月18日(月)	Post-Summit Adventure　全4コース（稚内、旭川、帯広、釧路の各市が企画・主催）		

Marketplace

事前マッチングによるツアーオペレーターの商談会。3時間の間に12分間の商談を最大12セッション行ないますが、参加者は大会期間を通してスマホアプリで繋がることができるため、商談時間外の接触・交流もさかんに行われるのが特徴です。

ジャパンラウンジ

JNTOとATWS北海道実行委員会の協働により、会場入口付近にJapan Loungeを設置します。総合案内テーブルや商談用スペースなどを設ける予定で、道外の広域DMO等にも参加を呼び掛けています。

ATWS北海道実行委員会では、ATのロゴを制作。自然を象徴する山、水や風の流れ、人々の体験・交流・移動する動きをイメージし、5つの図形により体験・自己変革・健康・挑戦・ローインパクトというATの体験価値を表現しています。

HOKKAIDO

MediaConnect

メディアとのフリー商談会。1社6分間の制限があるため、事前に相手の仕事内容や実績を調べておくことと、相手に取材してもらいたい内容を整理しておくことが肝要です。

レセプション

9月12日のオープニング・レセプションはATWS北海道実行委員会の主催で、コンベンションセンターを離れて大倉山で開催予定。札幌らしいユニークなロケーションで交流を深めます。

©（公社）北海道観光振興機構観光レポート2023年夏号

講演タイトルやスピーカー、PSA、DOAのコース内容など、サミットの全プログラムは公式サイト（英語）をご覧ください。

ATWS2023公式サイト
https://events.adventuretravel.biz/summit/hokkaido-2023

Pre-Summit Adventure（PSA）

大会前に実施される4泊程度のエクスカーションで、招待メディアやツアーオペレーターが対象。楽しみにしているATTA会員が多く、ホスト側にとっても北海道や全国のアドベンチャートラベルをPRする絶好の機会です。

No	ツアータイトル	メインアクティビティと催行地域	日数
1	大雪山周遊　～5泊6日ハイキングツアー～	登山（大雪山）	6
2	洞爺湖有珠山ジオパーク＆黒松内ローランド・アドベンチャー	トレッキング（洞爺）	5
3	日高　"アイヌ" アドベンチャー	トレッキング（様似）	5
4	マチネシリトレッキング・ワイルドサイクリング　Discover the volcano of east Hokkaido	トレッキング＆サイクリング（阿寒・川湯）	5
5	洞爺湖から日本海へ　4泊5日サイクリングツアー	サイクリング（洞爺湖・余市）	5
6	「地の果て・シリエトク（知床）」を目指すサイクリングツアー	サイクリング（網走～知床）	5
7	日本文化伝承の北前船、道南の要所を巡るサイクリングツアー	サイクリング（知内～江差）	4
8	日本最北の地を目指して　上川・宗谷　カヌーとサイクリング	カヌー（天塩川）、サイクリング（豊富～稚内）	5
9	火山が造った箱庭・大沼カヌーツーリング　～カヌー＆農山漁村交流4日間～	カヌー（大沼）	4
10	日本最北の離島　4泊5日ハイキングツアー	シーカヤック（利尻）	5
11	大雪山国立公園唯一の自然湖「然別湖カヤック＆トレッキング」	カヤック＆トレッキング（然別湖）	5
12	源流から海へ　ラフティングとカヌーで巡る水の循環エコツアー	ラフティング（占冠～穂別）	5
13	ザ　ワイルドフライフィッシング　イン　イースト北海道	フィッシング（知床、標津、阿寒）	6
14	道東の三国立公園を巡る6泊7日ワイルドライフツアー	野生動物観察（屈斜路、知床など）	7
15	女性による女性のためのSDGs文化交流体験～下川・西興部・滝上～	文化体験（下川、西興部、滝上）	4
16	みちのく潮風トレイルハイクでめぐる三陸海岸	ハイキング（福島、岩手、青森）	7
17	江戸時代へ続く道　～中山道と信仰の道～ 長野編	トレッキング（長野）	7
18	静岡アドベンチャー ～日本のシンボルを肌で感じる旅～	MTB、シーカヤック、ハイキング（静岡）	7
19	訪れるべき四国を代表する海と山と川をEバイクで巡る旅	サイクリング（四国）	6
20	世界自然遺産の屋久島で黒見岳登山とリバーアクティビティ	登山（屋久島）	6
21	阿蘇・高千穂で火山の息吹と自然の恵みを体感する旅	サイクリング（阿蘇・高千穂）	6
22	亜熱帯の島、沖縄を体感するサイクリング＆ウォーキング	サイクリング、ウォーキング（沖縄）	6

Day of Adventure（DOA）

大会参加者全員が参加する日帰りATツアーで全31コース。アクティブで難易度の高いコースから、文化体験などリラックスした行程まで内容はさまざま。アクティビティを通じてホスト国・日本の土地や文化を体感するとともに、大会初日に参加者同士が知り合うことを目的としています。

No	ツアータイトル	メインアクティビティと催行地域
1	アイヌの伝統・歴史・文化を学ぶカムイヌプリ軽登山ツアー	軽登山（白老、登別）
2	硫黄山登山と温泉体験でニセコの豊かな自然を体感する	登山（ニセコ）
3	天上の湿原　雨竜沼湿原　秘境トレッキング	トレッキング（雨竜）
4	夕張の歴史変遷トレッキングツアー　～「炭鉱」から「食と観光」へ～	トレッキング（夕張）
5	小樽近郊の酒造りのルーツを辿る！ 天狗山トレッキングツアー	トレッキング（小樽）
6	大雪山国立公園・黒岳ロープウエイとトレッキング	軽トレッキング（上川）
7	三笠ジオパークで北海道の開拓史を体感するガイドウォーキングツアー	ウォーキング（三笠）
8	ゼロカーボンパーク支笏湖　苔の回廊ハイキングとクリアカヤック	ハイキング＆クリアカヤック（千歳）
9	十勝岳ジオパーク・アドベンチャー　ハイク＆バイクin富良野	ハイキング＆サイクリング（上富良野）
10	港町小樽で海と断崖の絶景トレッキング	トレッキング（小樽）
11	ニセコアンヌプリ　サイクリング＆トレッキング	サイクリング＆トレッキング（ニセコ）
12	石狩の自然、歴史、サケ文化をサイクリングで体感	サイクリング（石狩）
13	北海道開拓から続く歴史と産業をめぐる北広島サイクリング	サイクリング（北広島）
14	札幌市南区の開拓歴史を巡るサイクリングと軽登山ツアー	サイクリング＆軽登山（札幌）
15	美唄サイクリングツアーと北海道最古の酒造を訪ねる旅	サイクリング（美唄）
16	都会の近くで発見！ウトナイ湖の大自然満喫ツアー	サイクリング（苫小牧）
17	【ルスツ～洞爺湖畔】MTBツーリング ロングコース	マウンテンバイク（ルスツ～洞爺湖）
18	JOMONを感じる清流千歳川　Canoe ride on the riverside	リバーカヌー（千歳）
19	積丹ブルーを体感！マリンアドベンチャー＆絶景ハイキング	シーカヤック、シュノーケリング（泊）
20	「鮭」の目線で 札幌・豊平川沿いをサイクリングし、上流の定山渓でカヌー！	サイクリング＆カヌー（札幌）
21	ニセコ・サステナブル・ライフスタイル～自然食＆カヌー～	カヌー（ニセコ）
22	大雪山国立公園唯一の自然湖「然別湖カヤック又はリバーウォッチング」	カヤック（然別湖）
23	ニセコ　尻別川ラフティングツアー	ラフティング（ニセコ）
24	羊蹄山麓での水との共生／Bringing Water to Life from Mount YOTEI	ラフティング、ハイキング、文化体験（ニセコ）
25	十勝川で日本の伝統的なテンカラ釣り	フィッシング（新得）
26	アイヌとゆく歴史散策：日帰りガイド付き先住民文化ツアー	異文化体験＆軽ハイキング（旭川）
27	白老アイヌ文化体験とポロトの森ハイキング	異文化体験＆ハイキング（白老）
28	今と昔を歩く札幌中心部のアイヌ文化ガイドツアー	異文化体験（札幌）
29	白老町でのアイヌパッチワークと文化交流体験	文化交流（白老）
30	岩宇地区　100年変わらない山と海の暮らしツアー	地域交流（共和、岩内）
31	渡り鳥の視点で旅する石狩川～空知ラフティングとグライダー	グライダー＆ラフティング（滝川）

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

北海道観光振興機構 事業活動報告

2023年4月～5月

プロモーション部(国内)

北海道公式観光アプリHOKKAIDO LOVE！ 2万ダウンロード記念キャンペーン開催中！

当機構では、2023年3月に北海道公式観光アプリ「HOKKAIDO LOVE！」をプレオープンしました。北海道を旅することでポイントをためて、たまったポイントはいろいろな景品が当たるPOINTガチャや、お得なチケットに交換することができるアプリで、2万ダウンロードを達成しました！
7月5日まで2万DL記念プレゼントキャンペーンとひがし北海道キャンペーンを開催中です。ぜひ、アプリをダウンロードしてお楽しみください。

AT推進部

米ATイベントに参加、ATWSに期待の声

5月9日より、米国メーン州ポートランドにて「Adventure Elevate」が開催され、ATWS北海道実行委員会メンバー等とともに参加してきました。このイベントは、ATTA主催で基本的に北米において開催され毎回300名程度の参加者が集います。
本年9月に開催が迫るATWS2023のプロモーション及び本番を想定した現地の様子を視察できたことは大変有意義であり、現地ではアジア初のリアル開催である北海道大会への期待の声を多くいただきました。
AT推進部では、ATWS2023を通じて北海道の魅力を存分に伝えて、実りあるものになるよう準備を進めてまいります。

AT推進部

『北海道アドベンチャートラベル シンポジウム』開催

4月28日に札幌でATについてのシンポジウムを開催しました。前半の基調講演では、北海道アドベンチャートラベル協議会の荒井会長がATとは何か、地域はどう取り組むべきかなど分かりやすく解説。後半のトークセッションには現場で活躍中の方々が出演し、AT商品になり得るもの、AT普及のメリット、ガイドの重要性などについて語りました。詳しくは機構のYouTubeで公開中のアーカイブをぜひご覧ください。

各部連携

「環境広場ほっかいどう2023」に出展

4月15・16日の2日間、札幌ドームでG7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合開催記念イベントとして開催された「環境広場ほっかいどう2023」に出展しました。
当日は、道民の方々に環境・SDGsと持続可能な観光振興について関心を持っていただくため、アイヌ文化や北海道の縄文遺跡群とSDGs目標の関係性や、アドベンチャートラベルなどを紹介するパネルをブース内に展示した他、キュンちゃんグッズなどが当たる抽選会、キュンちゃん写真撮影会を行い、多くの来場者で賑わいました。

プロモーション部(海外)

SNSを活用して北海道の魅力を海外に発信！

当機構が運営している多言語Facebook、Instagram、Weiboアカウントでは現在のフォロワー数は50万人を超え、7言語で北海道の魅力を海外へ向け発信しています。
外国人視点で投稿コンテンツを選定し、ネイティブライターによって、自然、食、体験に加え、イベントや文化などの北海道の魅力的な観光情報を紹介します。
また今年はリールやストーリーズなども交え配信を実施します。
北海道の認知度を世界に広め、北海道への外国人観光客の誘致拡大に繋げていきます。
皆様の地域の魅力や穴場情報等、外国人の方にご紹介したい内容がありましたら、ぜひご相談ください。

マーケティング部

第1回国際ウェルネスツーリズムEXPOに初出展

5月10日より3日間、東京ビッグサイトで開催された「第1回国際ウェルネスツーリズムEXPO」に初出展しました。当機構が推進する北海道のケア・ツーリズムの取り組み周知と興味・関心度等について来場者にアンケート調査を行うとともに、道内の観光協会やDMO、宿泊施設等の民間事業者が10団体出展し、道内各地におけるケア・ツーリズムコンテンツについてリーフレット等を使用しPRを実施しました。
旅行会社、交通機関、宿泊施設、メディア、法人、自治体等観光に携わる多くの来場者がブースを訪問しました。

地域観光部

令和5年度の地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業の採択事業が決定！

当事業は道内の自治体・観光協会等が主体となって、地域の様々な問題解決に向けて取り組む事業を支援する制度で、昨年度新たに設置されたDMO枠(観光地づくり法人(候補法人を含む)のみ応募が可能な制度)の8事業(＊令和5年4月に採択済)、地域単独枠：10事業、広域連携枠：8事業、(＊令和5年5月採択済)の合計26事業が外部の有識者による審査を経て採択事業と決定いたしました。コロナ後の観光地の回復に向け、重要な取り組みとなるため、当機構としてもしっかりサポートして参ります。

総務部

令和5年度 第1回正副会長会・理事会合同会議を開催

令和4年度当機構の事業報告並びに決算監査、及び令和5年度役員変更(案)、定款変更(案)を審議するため、5月26日札幌市内において今年度第1回目の正副会長会、理事会を開催し、全ての議案が承認されました。

北海道観光振興機構 事業活動予定

2023年7月～

プロモーション部(国内)

本年も「ふるさと全国県人会まつり」に出展！

9月9日から名古屋・久屋大通公園で開催される「ふるさと全国県人会まつり」に出展します。当イベントは東海3県で活動する38道県人会が中心となり、それぞれの“ふるさと”の魅力を伝えるお祭りです。会場では、秋冬の北海道観光をPRするほか、HOKKAIDO LOVE！LINE公式アカウントの登録を来場者に呼びかけます。

© (公社) 北海道観光振興機構観光レポート2023年夏号

新規会員ご紹介

（2023年1月～5月）※入会順

1 正会員（市町村・観光協会）

	団体・法人名	事業内容	住所
1	今金町	自治体業務（観光PR他）	今金町

2 正会員（関係団体・法人）

	団体・法人名	事業内容	住所
1	㈱JR東日本びゅうツーリズム&セールス	旅行業	東京都
2	㈱つたい	旅行業、貸切バス	帯広市

3 賛助会員

	団体・法人名	事業内容	住所
1	余市カントリー㈱	宿泊業、ゴルフ場運営	余市町
2	㈱SPコンシェルジュ	自動車販売店向け宣伝広告代理店	埼玉県
3	㈱Yoichi Resort	旅行業ほか	余市町
4	㈱Pioneerwork	プラットフォーム、コンサル、広告代理店業	東京都

会員数　585会員（正会員（関係団体・法人）311・賛助会員274）2023年5月31日現在

出向者紹介

今年４月から観光振興機構に配属となった職員を紹介いたします。

たしま　あきと
田島 章人
改革推進室 兼
事業企画本部マーケティング部
担当部長

広島県呉市出身。2023年4月全日本空輸から出向。2月に手交された機構改革提言内容の具現化、全体進捗管理及びアクションプラン策定などを担当。2003年から5年間札幌勤務経験あり。15年ぶりの北海道です。HOKKAIDO　LOVE！で頑張ります！

もり　たつや
森 達哉
事業企画本部
地域観光部
次長

旭川市出身。2023年4月札幌市役所から出向。地域観光部に配属。地域の魅力を活かした観光地づくり推進のための補助事業、機構道央分科会の事務局業務、域内周遊のモデルルート企画造成を目的とした「広域観光周遊促進事業」の胆振地域を担当。

せき　ようへい
関 陽平
事業企画本部
マーケティング部
次長

千歳市生まれ、宮城県東松島市出身。観光施策立案の基礎データとなる調査事業や自主財源確保のための事業開発を担当。前職はじゃらんリサーチセンターで行政事業を担当。調査分析、商品造成、プロモ設計、講演・セミナー等を行っていました。趣味は太鼓演奏です。

くろだ　なおこ
黒田 尚子
総務本部 副本部長・
改革推進室 担当部長

札幌市出身。2023年4月に北海道庁から出向。旭川、帯広、網走での勤務経験あり。予算管理などの総務部の業務の総括と、グランドデザインの検討など改革推進室の業務を担当。道庁と連携して、北海道観光を盛り上げてまいりますので、よろしくお願いいたします！

やなぎはら　ゆみこ
柳原 由実子
事業企画本部
プロモーション部
担当部長

2023年4月、㈱JTBより出向。2011年～2年間ふらの観光協会、2017年～2年間稚内観光協会、2022年9月～7か月網走市観光協会への出向を経て、北海道観光振興機構へ。北海道観光情報交換会やメディアタイアップ事業等国内プロモーションを担当。札幌出身、ワインが好きです。

かねた　やすお
金田 康央
事業企画本部
プロモーション部
担当部長

北海道釧路出身。2023年4月㈱阪急交通社から出向。プロモーション部へ配属される。現在、国内の誘客促進強化事業 大規模イベント出展や北海道から直行便が就航されている国内空港の就航先該当県との相互送客促進事業を担当。

「HOKKAIDO LOVE!」アクセス上位コンテンツの報告と分析について

▶前号の『観光スポット』と『イベント』に続き、今回も北海道公式観光サイト内の『特集』、『モデルコース』の2ジャンルの人気コンテンツを紹介いたします。

- それぞれのジャンルのトップ20を訪問者数順にランキングし、訪問者数（UU）のシェア、平均滞在時間、エリア、カテゴリー、お気に入り数で分析します。
- お気に入り数とは、モデルコースなどの各ページで「お気に入り」ボタンをクリックすると、ユーザーだけのマイリストを作成することができます。お友達やご家族と共有したり、パソコンで作成したリストをスマートフォンで見たりと、旅のプランニングに役立つ機能です。
- 計測期間は2022年4月から2023年1月まで。

1.ジャンル：特集（掲載件数101件）

- トップ3は「ラベンダーおすすめスポット」「冬のおすすめイベント」「旅のお役立ち情報」となっている。
- トップ20のUU合計は59万人で、このジャンル全体の95%を占め、これは4ジャンル中最多となっている。
- 平均滞在時間のトップ20の平均は3分05秒で全体平均の2分32秒より長い。4ジャンル中最長の滞在時間で、3分を超えるのはこのジャンルだけとなっている。
- トップ20のお気に入り数の合計は1,210件で、これは4ジャンル中最多となっている。
- お気に入り数をカテゴリーで見ると、「絶景・秘境」と「北海道はやわかり」の二つで1,087件となり90%を占めている。(緑セル)
- お気に入り数のトップ3は、「ラベンダーおすすめスポット」「絶景ドライブルート」「エリアガイド道央」となっている。

※特集の内容が複数エリアにまたがることからエリア出現率は算出していない。

順位	タイトル	訪問者数	UU数シェア	平均滞在時間	カテゴリー	お気に入り数
1	北海道のラベンダーおすすめスポット	160,493	26%	0:02:58	絶景・秘境	260
2	冬の北海道を満喫!厳選のおすすめイベント	70,677	11%	0:02:38	絶景・秘境	55
3	旅のお役立ち情報	50,320	8%	0:02:29	北海道はやわかり	91
4	話題のフォトジェニックスポット「然別湖の湖底線路」	49,632	8%	0:03:02	絶景・秘境	100
5	絶景ドライブルートをまとめて紹介	42,006	7%	0:02:44	絶景・秘境	136
6	春夏の北海道旅行で絶対食べたいグルメ特集	34,201	6%	0:02:52	グルメ	38
7	エリアガイド「道央」	22,622	4%	0:02:12	北海道はやわかり	121
8	はじめての北海道!北の大地の魅力と楽しみ方を徹底解説	21,375	3%	0:03:09	北海道はやわかり	54
9	うにの漁獲量日本一・北海道!夏の積丹　うにtrip	19,305	3%	0:03:29	グルメ	25
10	白い雪とのコントラストが美しい美瑛町の青い池	16,432	3%	0:02:50	絶景・秘境	29
11	北海道だからできる!冬のアクティビティ10選	16,423	3%	0:06:36	アウトドア・体験	12
12	エリアガイド「道南」	15,069	2%	0:01:57	北海道はやわかり	69
13	一度は行きたい北海道の5つの離島	14,695	2%	0:03:15	絶景・秘境	20
14	エリアガイド「道北」	10,969	2%	0:02:16	北海道はやわかり	72
15	エリアガイド「道東」	10,371	2%	0:02:03	北海道はやわかり	75
16	秋・冬の北海道グルメ特集	10,010	2%	0:03:18	グルメ	6
17	函館・女子ひとり旅! レトロな街を、路面電車で気ままに巡る	6,752	1%	0:03:39	散策・まちあるき	18
18	冬の贅沢な時間!北海道の雪見露天風呂	5,329	1%	0:03:53	温泉・癒し	20
19	オホーツク海でしか見られない! 冬の神秘「流氷」に迫る	5,043	1%	0:03:34	絶景・秘境	5
20	五稜郭だけじゃない!四稜郭もあれば三稜郭や七稜郭もあった?!	4,782	1%	0:02:51	歴史・文化・アート	4
	合計（平均滞在時間はトップ20の平均値）	586,506	95%	0:03:05		1,210

2.ジャンル：モデルコース（掲載件数43件）

- トップ3は「札幌・小樽・ニセコの定番コース」「知床と阿寒・釧路の大自然」「宗谷岬と利尻・礼文の旅」となっている。
- トップ20のUU合計は29万人で、このジャンル全体の92.4%を占め、これは4ジャンル中2番目となっている。
- 平均滞在時間のトップ20の平均は2分23秒で全体平均の2分11秒より長い。4ジャンル中では最短となっている。
- エリアの出現率は、道央43%、道南14%、道北19%、道東24%となっている。
- トップ20のお気に入り数の合計は716件で、これは4ジャンル中3位となっている。
- お気に入り数のトップ3は、「札幌・小樽・ニセコの定番コース」「知床と阿寒・釧路の大自然」「美瑛・旭川～青い池・丘めぐりドライブ」となっており、この三つでトップ20の53%を占めている。(緑セル)

※モデルコースのカテゴリーは複数にまたがることから分析対象としていない。

「HOKKAIDO LOVE!」アクセス上位コンテンツの報告と分析について

順位	タイトル	訪問者数	UU数シェア	平均滞在時間	エリア	お気に入り数
1	初めてなら絶対に外せない!札幌・小樽・ニセコの定番モデルコース	125,588	40%	0:04:05	道央	218
2	世界自然遺産・知床と阿寒・釧路の大自然を「ギュッ!」と満喫!よくばり道東プラン	24,047	8%	0:02:44	道東	104
3	日本の最北端、宗谷岬と利尻・礼文　最果ての旅	18,531	6%	0:02:17	道北	46
4	ぐるっと道南ひと回り!伝統と歴史を誇る3つの港町めぐりと大沼の大自然を満喫する旅	16,003	5%	0:01:57	道南	13
5	とっておき!フォトジェニックな癒し旅～美瑛・旭川～青い池・丘めぐり おススメドライブコース	14,297	5%	0:02:11	道北	54
6	食の宝庫で食材巡礼と、キラめく積丹ブルーを目指して爽快ドライビング!～余市・積丹・小樽～	13,076	4%	0:02:30	道央	50
7	レンタカーで行く!名湯で癒される登別・白老　湯めぐり旅	10,644	3%	0:01:44	道央	31
8	広大な十勝平野に感動!充実のアウトドア体験とチーズやスイーツ、グルメ三昧でエネルギーチャージの旅	8,022	3%	0:02:23	道東	19
9	春の北海道・東北よくばり桜旅 4泊5日　～札幌・小樽・函館・弘前・仙台・松島～	7,769	2%	0:02:29	道央・道南	24
10	道内有数のワイン生産地、空知エリアのワイナリーをめぐる札幌発日帰り旅	6,179	2%	0:02:06	道央	18
11	見たことのない絶景に息をのむ!冬こそ行きたい旭川・美瑛の旅	6,105	2%	0:03:09	道北	22
12	ここは絶対はずせない!　絶景やアートに魅せられるフォトジェニックな景色を楽しむ旅!～美瑛・富良野・トマム～	5,586	2%	0:02:44	道北	22
13	ドライブ旅 in 帯広・十勝! 色彩ゆたかなガーデンめぐりと日本一ビッグな牧場で北海道らしさを満喫	5,384	2%	0:01:45	道東	14
14	朝ドラの舞台で話題の十勝!北海道の大地の恵みはもちろん、十勝ゆかりのアートな見どころをも盛りだくさん!	4,664	1%	0:01:39	道東	6
15	札幌発ネイチャーヒーリング!気ままに日帰り旅	4,498	1%	0:01:43	道央	21
16	アクティビティの宝庫!ニセコ・小樽・札幌のおススメプラン	3,714	1%	0:02:46	道央	9
17	世界に誇るニセコの大自然!　羊蹄山(蝦夷富士)を仰ぎ見ながら旬の恵みに舌鼓	3,697	1%	0:01:48	道央	11
18	タンチョウ・ワカサギ釣り・SL湿原号を思いきり満喫!～冬の釧路・阿寒の旅～	3,670	1%	0:03:06	道東	16
19	函館発!異国情緒ただようレトロな街歩きとグルメ旅	3,441	1%	0:01:57	道南	5
20	アイヌ文化と洞爺湖有珠山ジオパークを体感!おすすめモデルコース	3,240	1%	0:02:39	道央	13
	合計(平均滞在時間はトップ20の平均値)	288,155	92%	0:02:23		716

キュンちゃんの小部屋

北海道の観光案内所

どさんこ旅サロン

東京・東京交通会館3階

「どさんこ旅サロン」は、「北海道どさんこプラザ」(北海道のアンテナショップ)がある、東京交通会館の3階(札幌市東京事務所内)にございます。(JR有楽町駅下車すぐ)

道内各地のパンフレットを取り揃えているほか、スタッフによる観光・イベント情報の案内や旅行相談も承っています。

住所／東京都千代田区有楽町2丁目10-1
　　　東京交通会館3階
営業時間／11:00～19:00
定休日／土・日・祝、年末年始、
施設の全館休業日
問合せ／電話03-6206-3163

北海道さっぽろ観光案内所

JR 札幌駅西コンコース北口

JR札幌駅の「北海道さっぽろ食と観光情報館」内にあり、専門のスタッフが日本語以外に、英語、中国語、韓国語で旅行相談に応じ、最新の観光情報を提供致します。また、観光振興機構作成のパンフレットのほか、会員施設のパンフレットが各種陳列されています。

住所／札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅西コンコース北口「北海道さっぽろ食と観光情報館」内
営業時間／8：45～20：00　定休日／年中無休
問合せ／電話011-213-5088

北海道観光振興機構 LINE公式アカウント

北海道の旬な情報はこちらから!
お友達登録が約27万人を突破
(※2023年5月末現在)
キュンちゃんが道内各地を紹介中!!

会員募集中!

入会申込みの詳細は、
お問い合わせください。

■本レポートに関するお問い合わせ先

公益社団法人北海道観光振興機構
マーケティング部
〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番1　緑苑ビル1階
TEL 011-231-0941　FAX 011-232-5064

本誌の無断転用、転載を禁じます。

＼ おトクなきっぷご利用のお客様限定 ／

おトクなきっぷ＋駅レンタカープラン

2,970円〜（税込）

レンタカーのみのおねだんです

JR北海道の**おトクなきっぷと組み合わせて**
駅レンタカーがおトクにご利用になれます。

対象車種 Sクラス（オートマ車限定・車種指定不可）

対象きっぷ JR北海道管内で利用できるおトクなきっぷ※2

予約箇所 「駅レンタカー 北海道」の予約サイト※3

駅レンタカー 北海道 ［検索］

おねだん 2,970円〜6,280円（税込／24時間／免責補償料込）※1

予約期間 レンタカーご利用の6ヶ月前から前日の12時まで

※1.おねだんはご利用日により異なります。
※2.一部対象外のおトクなきっぷがございます。
※3.JR北海道の駅ではレンタカーの予約は承っておりません。
※ご利用条件など、詳細は「駅レンタカー 北海道」のホームページをご覧ください。
※2023年6月現在の情報です。

JR北海道